

第1回 東牟婁地域における大規模氾濫減災協議会

日 時：平成 29 年 8 月 10 日（木）14:00～15:00

場 所：和歌山県水産試験場 2階 会議室

【出席者】

岩田すさみ町長、寺本那智勝浦町長、上中総務課副課長（三軒太地町長代理）、
西前古座川町長、田嶋串本町長

気象庁 和歌山地方气象台 見定次長（山田台長代理）

和歌山県 東牟婁振興局 堀地域振興部長、東串本建設部長、木村新宮建設部長
国土交通省近畿地方整備局河川部 井川地域河川課長（オブザーバー）

協議会開催にあたって

協議会の開催にあたって、東串本建設部長が「この協議会は、「大洪水からの逃げ遅れゼロ」、「被害の最小化」を実現するため、関係者間であらためて連携を深めて対策を協議するもの」と挨拶し、本協議会が目指す目標の共有が図られました。



議 事 概 要

事務局より、協議会設立の背景・必要性、県内の枠組み、今後の取組（スケジュール）、地域の状況、取組方針検討事項のイメージについて説明。

その後、本協議会の規約（案）について、議決され、「東牟婁地域における大規模氾濫減災協議会」が設立しました。

今後は、次回協議会（平成 30 年度出水期まで）までに「東牟婁地域における取組方針（案）」について検討することとしました。

<主な意見等>

- ・すさみ町としては東牟婁地域、西牟婁地域ともに連携が必要。行政として混乱が生じないよう配慮頂きたい。
- ・豪雨など気象状況が変化している中、引き続き、七川ダムの効果的な運用を検討して頂きたい。

